

アイセントレス®錠 600mgを 服用される方へ

監修：岡 慎一 先生

〔国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター(ACC) ACC名誉センター長〕



はじめに

この冊子には、アイセントレス®錠600mgをお飲みになる方のために、特徴や服用方法、飲み忘れたときの対処方法、正しく飲み続けるための工夫などが記載されています。

お薬をお飲みになる前に、ぜひご一読ください。

また、治療やお薬について、わからないことや不安なことがあれば、いつでも医療スタッフに相談してください。

監修：岡 慎一 先生
〔国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター（ACC）
ACC名誉センター長〕



目次

<u>はじめに</u>	2
-------------------	---

アイセントレス[®]錠600mgとは

● どんなお薬？	4
● 服用方法は？	4
● 飲み忘れた場合は？	4
● 他のお薬との飲み合わせは？	5
● 妊娠・授乳における注意は？	5
● 副作用は？	5

<u>お薬を正しく服用するために</u>	6～7
----------------------------	-----

<u>HIV感染症と治療について</u>	8～9
----------------------------	-----

<u>服薬に関するその他の情報</u>	10
---------------------------	----

アイセントレス® 錠600mgとは

どんなお薬？

アイセントレス® 錠600mgは、
インテグラーゼ阻害薬という種類のお薬です。

商品名：アイセントレス® 錠600mg
成分名：ラルテグラビルカリウム



服用方法は？

アイセントレス® 錠600mgは、**1回2錠を1日1回**服用します。
食事の有無に関係なく、いつでも服用することができます。

食事の前、後、空腹時など、いつでも服用することができます。
服薬を習慣化しやすいよう、
ご自分の生活パターンにあった服用時間を決めてください。

飲み忘れた場合は？

気づいたときに1回分を服用してください。

ただし、次の服用時間が近い場合には、その分は
飲まずに、次の服用時間に1回分を服用してください。
決して2回分(4錠)を1度に服用しないでください。



他のお薬との飲み合わせは？

現在、服用しているお薬やサプリメントがある場合には、必ず医師や薬剤師に伝えてください。

アイセントレス® 錠600mgには、一緒に飲むときに注意が必要なお薬があります。

妊娠・授乳における注意は？

妊娠またはその可能性がある方は、医師に相談してください。また、アイセントレス® 錠600mg服用中は、授乳を避けてください。

副作用は？

主な副作用として、悪心、腹痛、頭痛、下痢、嘔吐、めまいなどがあらわれることがあります。

何か体の変化を感じたら、すぐに医師・薬剤師などに相談してください。

お薬を正しく服用するために

お薬の効果を維持するために、
正しい服用方法を習慣づけるようにしましょう。

治療においては、毎日、お薬を継続して服用することが何よりも大切です。
服用中は次のことを心がけてください。

服用中に気をつけていただきたいこと

1

毎日服用することを生活習慣として
組み入れるようにしましょう。

飲み忘れのないよう、あなたの生活パターンに
合わせて服用時間を決めてください。

例えば、朝食の前、
寝る前に服用するなど、
生活習慣の1つとして
組み入れていくとよいでしょう。

毎日、寝る前に服用
することにしよう！



2

検査値や症状がよくなっても、
自己判断で服用を中止したり、
服用量を変更したりしないようにしましょう。

自己判断で服用を中止したり、
服用量を変更したりすると、
ウイルスの量が増えたり、
お薬が効かなくなってしまう
場合があります。

医師の指示通りにきちんと服用してください。

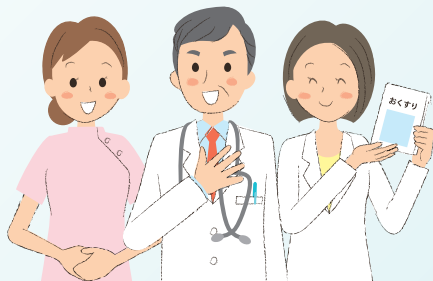
よくなっても毎日
きちんと飲むぞ



3

服用中に何か気になる症状があらわれたら、すぐに医療スタッフ（医師、薬剤師、看護師）に相談しましょう。

気になる症状以外にも、お薬の服用に関して、わからないこと、不安なことがあったら、薬剤師や看護師などに相談してください。



アイセントレス®錠400mgを服用したことがある患者さんへ

**アイセントレス®錠600mgの代わりとして、
アイセントレス®錠400mgを服用しないでください。**

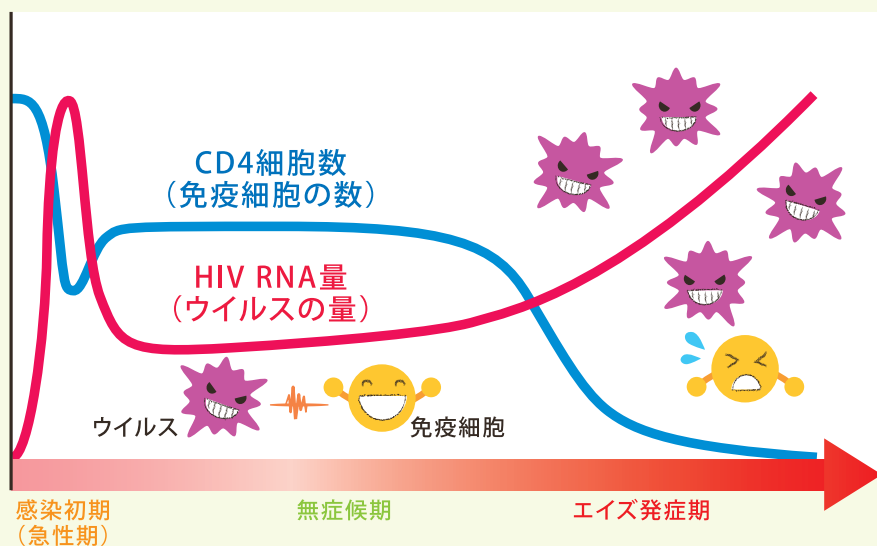
アイセントレス®錠600mgとアイセントレス®錠400mgは、同じ有効成分のお薬ですが、吸収速度や吸収される量が異なります。そのため、もし以前に処方されたアイセントレス®錠400mgが残っていても、決してアイセントレス®錠600mgの代わりとして服用しないでください。お薬の効果のあらわれ方などが変わってしまうおそれがあります。

HIV感染症と治療について

HIVに感染すると、ウイルスにより免疫細胞が壊され、免疫力が低下してしまいます。

HIVに感染した後、適切な治療を行わないと、ウイルスにより、少しずつCD4細胞（免疫細胞）が破壊されてしまいます。そして、CD4細胞の破壊が進むと、免疫力が低下し、普段は感染しない病原体にも感染しやすくなり、様々な病気を発症します。この病気の状態をエイズといいます。

HIV感染症の自然経過



ウイルスが急激に増え、インフルエンザのような症状が出る場合があります。

症状はありませんが治療を行わないとCD4細胞が破壊され続けます。

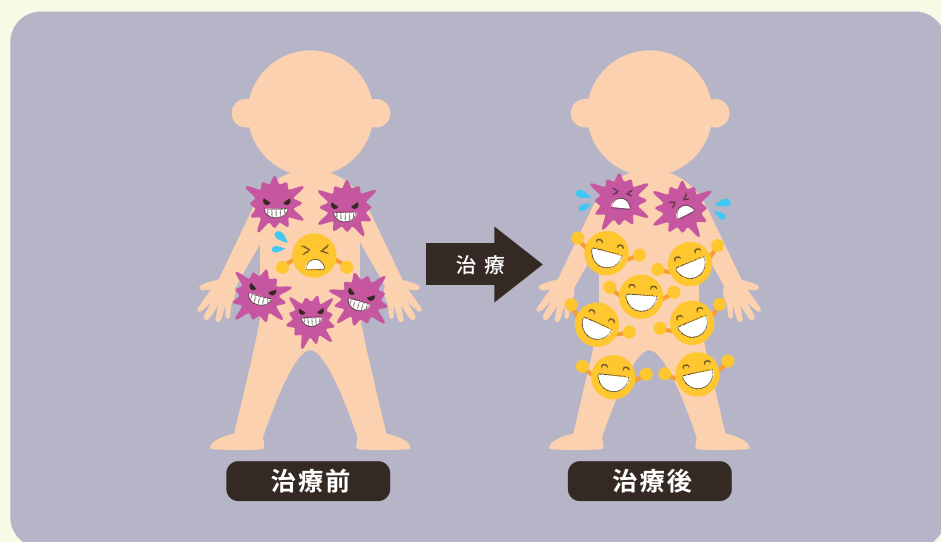
CD4細胞の破壊が進むと免疫力が低下しエイズを発症します。

抗HIV薬による治療によって、ウイルス量を減らし、免疫力を回復させます。

治療の基本は、抗HIV薬の服用です。

抗HIV薬は、ウイルスの増殖を抑え、体のなかのウイルスの量を減らしていきます。

ウイルスの量が減ってくると、CD4細胞数が増え、免疫力も回復します。



働き方の異なる抗HIV薬を組み合わせて服用します。

抗HIV薬は、働き方の違いによって、いくつかの種類があります。

治療では、働き方の異なる抗HIV薬をいくつか組み合わせて服用します。

抗HIV薬の主な種類

- インテグラーゼ阻害薬
- プロテアーゼ阻害薬
- 非核酸系逆転写酵素阻害薬
- 核酸系逆転写酵素阻害薬

服薬に関するその他の情報

キャップの開け方

アイセントレス錠®600mgのボトルキャップは、
プッシュ&ターン式です。

下の手順にしたがって開けてください。

開ける手順

- ①上からキャップを押しながら、
- ②左に回してください。



HIV情報を収集できるWebサイト

HIV感染症のこと、お薬のこと、治療のことなどについて、
もっとくわしく知りたいときは、下記Webサイトでも
ご覧いただけます。

- 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
<https://www.acc.ncgm.go.jp>
- 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター
<https://osaka.hosp.go.jp/departament/khac/index.html>
- エイズ予防情報ネット
<https://api-net.jfap.or.jp>

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



●病院名